

ふれあい大学 35期会 会報 NO10

2023年12月26日発行

ふれあい大学35期会 総務

活動報告

《草加松原ウォーキング》



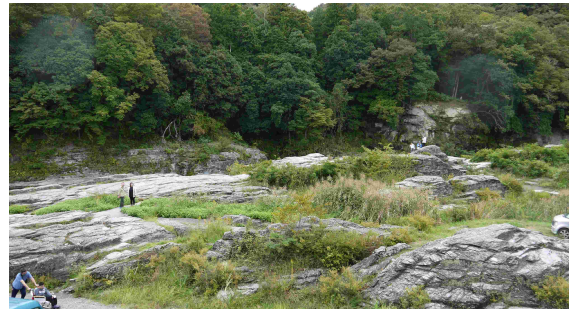
案内人の会の皆さん



工藤さん 亀田さん 今野さん 丸山さん

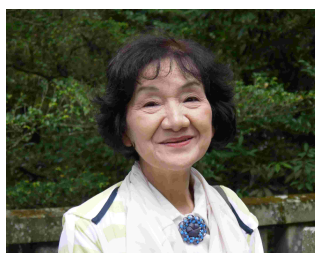
11月15日午前10時、参加者19名と草加宿案内人4名の23名を2チームに分け、せんべいを焼く「おせんさん」の像がある草加駅東口を出発。心配した天気は薄曇り、3km弱の距離を2時間程度で、旧日光街道二番目の草加宿と名勝草加松原をウォーキングしました。最後は松尾芭蕉の「奥の細道」冒頭、「月日は百代の過客にて・・・」にちなんで名付けられた太鼓型の百代橋で全員写真を撮り解散。特に印象深いのは、綾瀬川沿い1.5kmの松並木の遊歩道である名勝草加松原です。国の名勝指定された埼玉県の景観地は、長瀨渓谷、山波石峡、草加松原の3カ所だけです。江戸時代は千本程あったと言われた松並木が、昭和40年代、排ガス等の環境問題で、古木が60本程度まで減少したそうですが、市民団体が立ち上がり補植、手入れにより現在は634本に回復しました。ここには奥の細道旅立ち300周年（平成元年）を記念して建立された松尾芭蕉の像があります。46才で重い荷を背負い150日間で2400kmの奥の細道に旅立つ松尾芭蕉が、見返り姿で佇む像です。草加についての私の知識は「せんべい」と「草加松原」では無く「松原団地」だけでした。今回、事前の下見、また当日の案内人による説明、及び活動報告を書くための資料見直しにより草加について多くを学ぶことが出来、認知症を予防することが出来ました。 1班 丹野裕次

《秩父・長瀬日帰りバスツアー》



急に秋めいた 10月5日(木)に、秩父の歴史と産業を学ぶ一日研修で同期生 34名がバスで出発しました。木製の手漕ぎ船で荒川を下るスリリングな長瀬ライン下り(山から切り出した木材を江戸に運ぶ「いかだ流し」が起源)、レンガ造りの「荒川橋梁」くぐり、激しく波しぶきも浴び、時にはゆったりと、海底から隆起した結晶岩盤でできた岩畳等渓谷美を眺めながらスリル

を満喫しました。河原から岩畳通りのお店を見ながら宝登山神社へ。秩父三山の一つで、1900年の歴史を持つ宝登山神社。「日本武尊」が東国平定の折、この山の頂上を目指していたところ、山火が発生、神犬が山火を消したことから「火止山⇒ほどさん」と定め、後世「宝登山」と改められました。火災盗難除け、諸難除けとして名高く、多彩な彫刻装飾が施された美しい社殿を拝観いたしました。その後釜めし御膳で揚げたての天ぷらなどの昼食をいただき、秩父夜祭会館へ。館内では大きくきらびやかな笠鉾と屋台の見事さに圧倒され、3Dシアターでは専用メガネをかけお祭りの大迫力を肌で感じました。秩父夜祭りは秩父神社の祭神である妙見様（女の神で北斗七星の神様）と武甲山の竜神様（男の神で水の神様）が年に一度会うためのお祭りとして伝わっています。江戸時代絹取引を飾る一大行事として発展し日本を代表するお祭りとなりました。12月2日の宵宮と3日の大祭、この祭りを彩るのが二基の笠鉾と四基の屋台です。勇壮に引き回され、屋台で行われる歌舞伎や曳踊りも見事で「秩父の屋台行車と神楽」がユネスコ無形文化遺産として登録されました。クライマックスは3日の夜、御神輿を中心とした御神幸行列が秩父神社から御旅所へと向かい、その後を笠鉾・屋台が続きます。団子坂を曳きあげられ、御旅所に整列するまで大輪の花火が打ちあげられます。最後の研修場所は県内35の蔵元のひとつ武甲酒造に寄り、試飲でのどを潤しほのぼのとした心地で帰路につきました。



3班 濱野 秀子



秩父夜祭会館



武甲酒造



武甲酒造売店



宝登山神社



《こどもライブフェスタ 2023》



忍者修行スタート



35期会スタッフ



ワークショップボランティア



バルーンアート担当 益子さん



受付担当 菅原さん



受付担当 角さん

例年ボランティア部として参加している「こどもライブフェスタ」。今年も11月12日（日）と26日（日）2日間で開催され35期会の有志4名が参加しました。12日は忍者修行と銘打ったウォークラリー。春日部東口周辺を約2時間かけてゲームをしたり、クイズを解いたり、今年は65組250名が参加し親子で楽しんでいました。26日は、ぽぽら春日部1階ホールで5種類のワークショップを開催、当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、170人の参加でたいへん盛り上がりました。2日間でのボランティア数は、共栄大学生50人を含め多くの団体が参加し、総数150名で行われました。こども達の笑顔に癒され、楽しい2日間でした。

編集後記：今回は、紀行文を3班の濱野さんと1班の丹野さんに書いて頂きました、ご協力頂きありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
総務部 関根